

畜産業における切れ・こすれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	9~10	牛舎内で去勢手術中にカッターで左手人差し指を切ってしまい、病院で縫合した。	32	—
2	9~10	当社養鶏場において卵の回収作業をしていた。鶏がいるケージの隙間から右手を入れて卵を取ろうとしたところ、鶏に手を踏まれて慌てて手を引き抜いた。その際、ケージの網が少し破れていて右手親指付近を引っ搔いてしまい、被災した。	67	10~29
7	8~9	センターでトレー排出のチェーン部の汚れを掃除していたら、次のトレーが来てチェーンが動き、指を持っていかれ右手人差し指の爪が剥がれた。	19	100~299
7	13~14	当事業所養鶏農場敷地内で草刈り作業中、刈り草集めの手伝いをしていた被災者に、草刈機を使用して作業をしていた別の作業員が、刈り取られた草を集めるよう声をかけたところ、被災者が近くに来て「来ました」と声をかけた。作業員が草刈機を持ったまま振り向いたところ、回転していた草刈機の刃が被災者の右大腿部に当たり負傷した。	18	30~49
7	8~9	工場内の作業スペースで、プラスチックの20Lドラムを固定し切断加工中、ディスクグラインダーの刃が誤って左手に触れ負傷した。	32	1~9
10	17~18	農場内で藁切り作業終了後に後片付けをしていたところ、藁切切断機内部に牧草が残っていたため、右手で取り除く時に、機械内部の切断刃に接触して右手人差し指の先に切傷を負った。	59	1~9
		鶏舎の上の奥で発生した災害である。鶏糞を除糞するためのベルトが切れたため、新品と交換しようとして作業をしていた。交換用のベルトを、鉄パイプを差して片側を隣のケージにのせ、交換しようとしているケージの上ののせる際に、除糞用		50

12	8~9	の開口部蓋（合板）の上にとり、下のベルト（1m位）に落ちた（踏み抜いた状態）。その際、交換する前のベルトを押さえているバーと交換用ベルト（約10kg）に手を挟み、左手中指と薬指の第2関節の外側を切り、同時に右足脛を打った。	55 ~ 99
----	-----	---	---------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html